

探訪 チャレンジ企業 59

社員を大切に、社員を育て、
社員とともに成長
沢田エンジニアリング株式会社：輪島市門前町

「こんなふうにして、社員がどこの現場で何をしているかが分かるんです」と言っている。見せてくれたのが携帯電話の画面。そこには、社員の方の名前と現場、行っている作業が表示されていた。「そういえば、〇〇とは、今年に入ってから二回位しか会ってないなあ。それも一回は消防の大会だけ」と話すのは、代表取締役 沢田隆さん。

水質測定などを行う沢田エンジニアリング株式会社である。

一 環境に配慮

冒頭の携帯電話を使っているシステムは、当社が環境保全に向けた具体的な取り組みの一つで、CO2排出量の削減のために二〇〇〇年から行っている。

具体的には、前出の作業日報の他に、出勤簿管理、報告書の提出にも活用している。維持管理している施設が広域にわたるため、本社への形式的な出勤回数を減らすことでガソリンの消費量の削減を目的としている。また、事務所からの緊急連絡にもこのシステムは大活躍している。

二 全国に一台しかないスーパーマシン

当社は、全国に一台のスーパーマシン「高効率異動乾燥車」(写真左)の運転管理も任されている。



このマシンは、七尾市、中能登町の下水道から排出される汚泥を肥料化するもので、汚泥を脱水したものを、三〇〇〜四〇〇℃の熱で乾燥させる。乾燥にはジェットエンジンの技術も使われている。



三 下水道の維持管理をする責任

昨年の能登半島地震の後、強風で避難所の仮設トイレが飛ばされるアクシデントがあった。時間は午前三時。「五分以内に家を飛び出しましたよ。下水道も電気や上水道と同じライフライン。不通になると困る住民の方の不安をすぐにも取り除きたかった。二十四時間いつでも対応します」と沢田社長。

「確かにトラブルへの対応は大切ですが、そもそもトラブルが起きないようにするのが最も大切なのは」との意地悪な質問にも、「同じ設備が導入されている他地域の施設に比べ明らかにトラブルは

少ないですよ。その点も大丈夫です」との頼もしい答えが返ってきた。トラブルが起きないように運営し、トラブルが起きたときは即対応、即解決。施設の維持管理を任せる市町村からの信頼も絶大である。

四人は石垣

「社員が資格を取得するための費用も会社負担です。もし、当社を離れることになった時も本人の役に立ちますから」と社員の資格取得にも力を入れている。また、沢田社長のノウハウや思いを積極的に社員にも伝授している。「社員想い」が伝わってくる。その想いが伝わるのか「他社の社員が数名で行う業務も当社の社員は、一人で十分です。前向きにトライしてくれています」とのこと。先ほどのスーパーマシンも、当初は説明書に書かれている処理能力に十分対応できていなかったが、社員同士の創意工夫、改善効果で今では能力以上の処理が可能となっている。

沢田社長の社員への賞賛はまだまだ続く。「今年のゴールデンウィークは全員休め、俺が対応すると堂々宣言した後に、トラブルが発生。メー

ルで『朝五時集合』と連絡したら、いやな顔せずみんな集まってくれました」とニコニコ。冒頭の携帯電話での作業報告や出勤簿管理などが上手に機能しているのも、沢田社長と社員の方々の信頼関係があつてのことであろう。



最後に沢田社長は、「この前、社員からPTAの会長を引き受けていいものか、と相談を受けた時に、『受ける』と言いました。当社のモットーは、『地域に貢献できる人間でなければならぬ』です」と熱く語られた。

(お問い合わせ)

沢田エンジニアリング株式会社
〒九二七-1217

輪島市門前町本市二五-四三
TEL 〇七六八-四一三〇三五

(取材：石川県商工会連合会
能登支所 澤井健一)

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会にお尋ねください。